

都が目指す地域日本語教育の方向性について（案）

－地域日本語教育ワーキング（第 1 回）資料－

1 東京における多文化共生社会づくり

日本人と外国人が共に活躍し、共に支え合う多文化共生社会を実現するため、次の基本目標を設定（東京都多文化共生推進指針）

【基本目標】多様性を都市づくりに活かし、全ての都民が東京の発展に向けて参加・活躍でき、安心して暮らせる社会の実現

2 都における地域日本語教育の考え方

- 東京が持つ資源を最大限活用し、在住外国人が身近な地域で日本語を学習できる環境の整備
- 外国人が日本語によるコミュニケーションを通じ、地域活動に参加・活躍できる多文化共生社会の実現
- 地域日本語教育に関わる全ての関係機関が連携し、東京の地域日本語教育を推進

3 令和 2 年度地域日本語教育実態調査状況について

別紙のとおり

4 今後取り組むべき方向性（案）

実態調査で明らかになった東京における地域日本語教育の現状と課題を踏まえ、今後取り組むべき方向性を次のとおり設定

- ① 日本語学習機会の確保
希望する全ての外国人に対し日本語学習機会を提供できる環境を整備することで、外国人が地域で安心して暮らせる社会を実現
- ② 日本語学習環境の充実
都内各地域で行われている取組の継続・発展を支援するほか、課題解決に向けた新たな取組をサポート
- ③ 地域との連携
地域日本語教育推進モデル事業を実施するなど、地域日本語教育を担う各主体と連携することで東京全体の地域日本語教育のレベルアップを図る
- ④ 推進体制の構築
東京全体をコーディネートする機能を構築することにより、地域日本語教育の総合的な体制を整備